



IBMソフトウェアソリューションのもたらす価値

- フォーカス・ソリューションとIBMミドルウェア -

日本アイ・ビー・エム株式会社
理事 ミドルウェア統括
川原 均

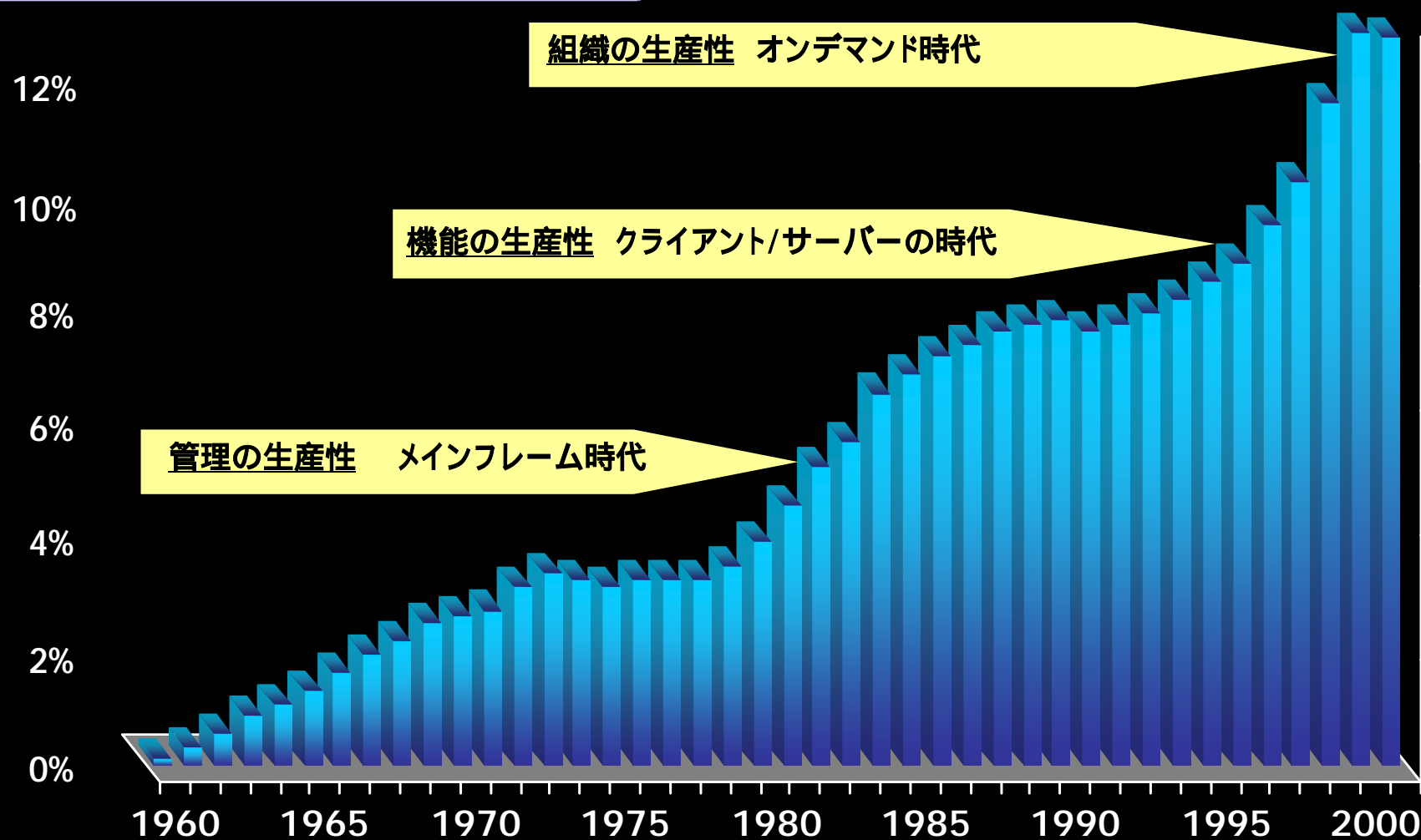
2004年3月11日

アジェンダ

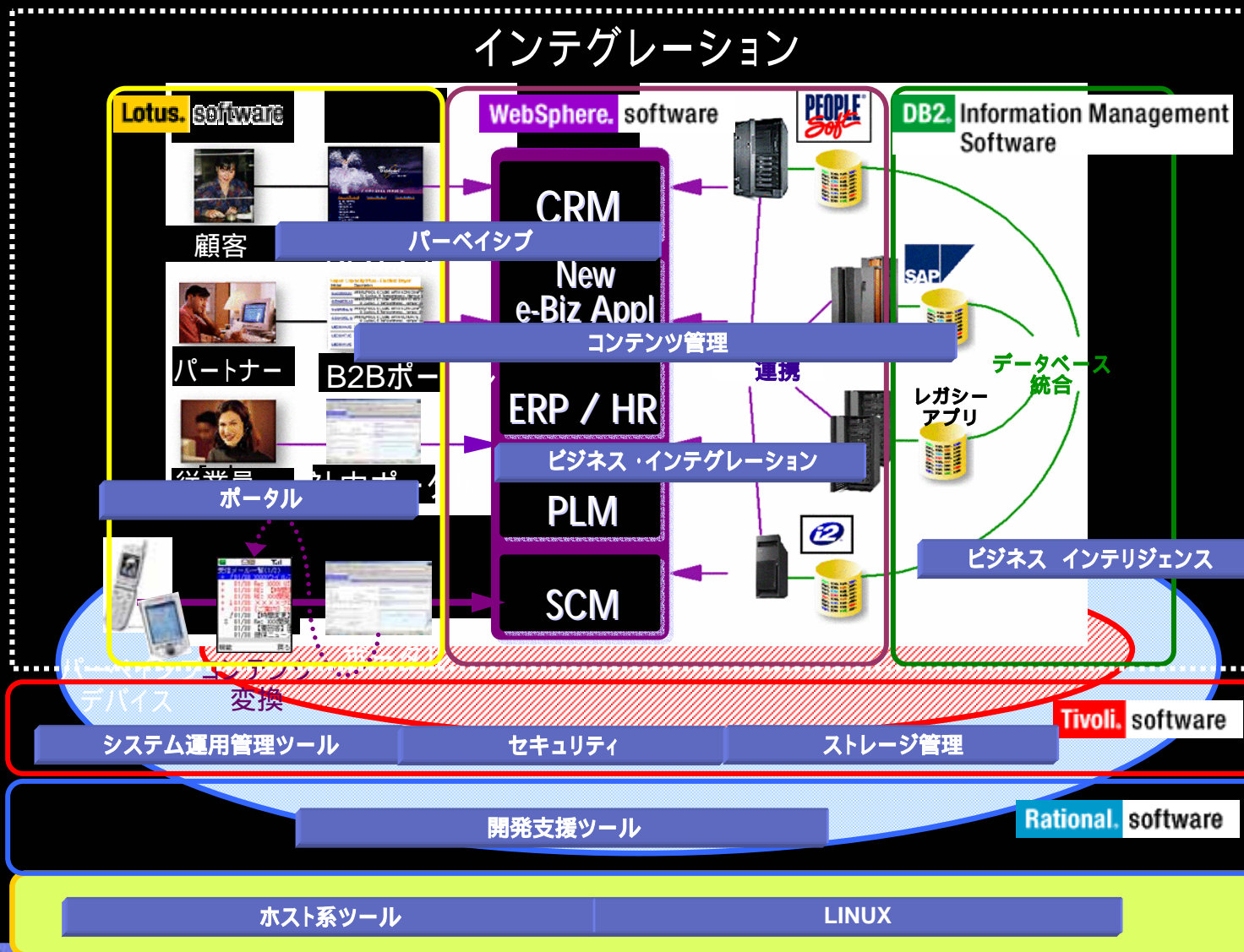
1. オンデマンドに対応するIBMソフトウェア
2. IBM ソフトウェアソリューションの詳細
3. 2004年ソリューションチームの体制

オンデマンド時代のIT投資

資本資産に対するIT投資の割合 (USにおいて)

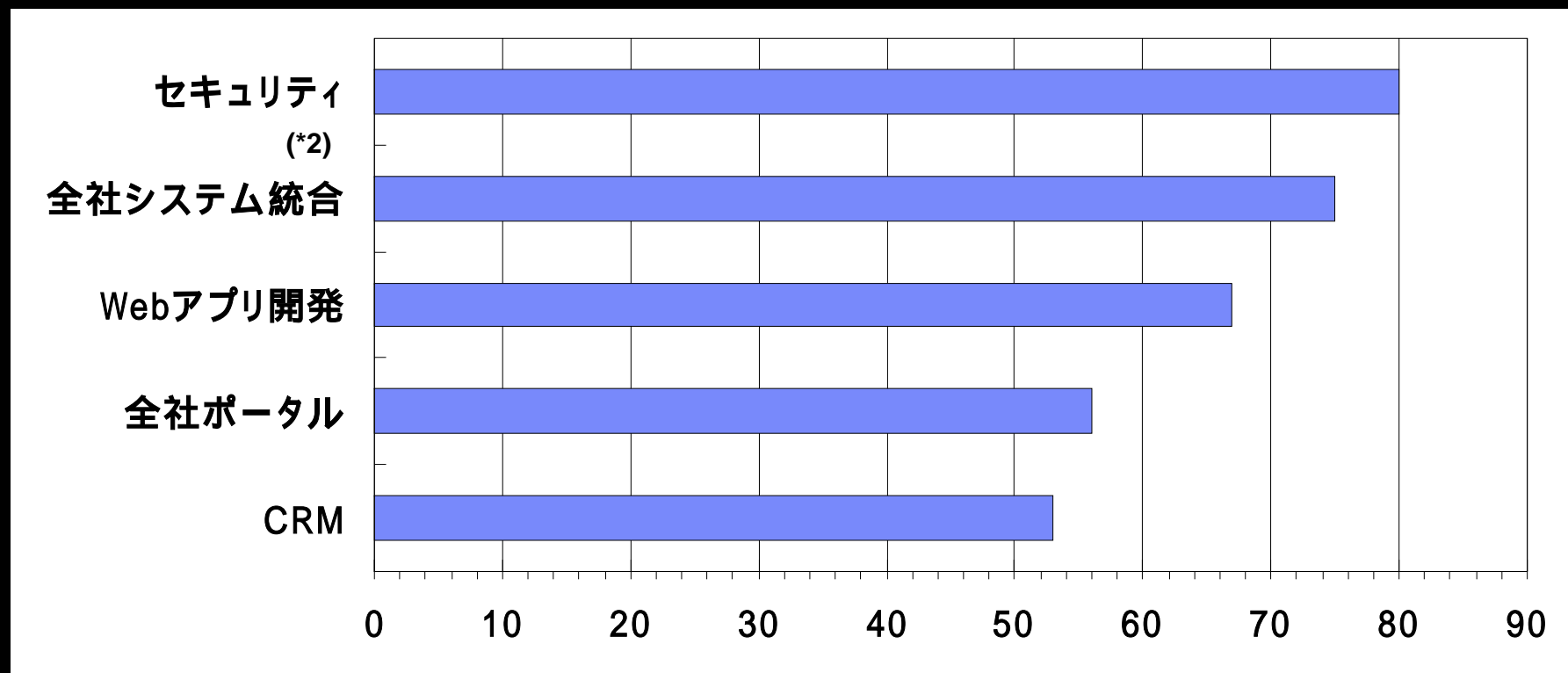


e-ビジネス・オンデマンドとIBMソフトウェア



CIOの優先順位

CIOの優先課題アンケート結果 (*1)



*1: 出所 Giga Information (米国企業のIT部門向け n=200、2002年5月調査 複数回答有り)

*2: Authentication, Authorization, Administration

アジェンダ

1. オンデマンドに対応するIBMソフトウェア
2. IBM ソフトウェアソリューションの詳細
3. 2004年ソリューションチームの体制

ビジネス・インテグレーション

企業経営、業務視点での課題

- 社内業務プロセスが、自動化されていない (紙の書類が多い)
- 最新の情報や業務進捗が把握できない (社内外に即答できない)
- 業務の改革・変更に、時間と労力がかかる
- 情報の所在と利用方法がまちまち

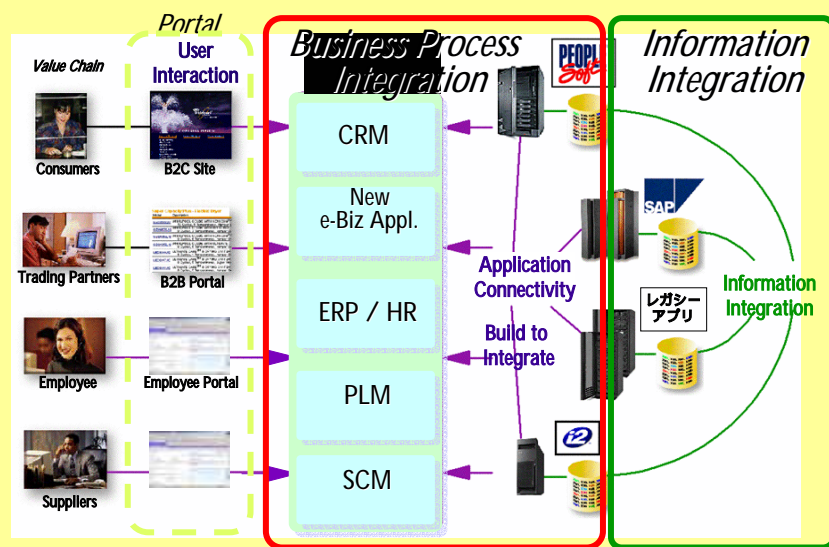
IT視点での課題

- システムや情報が、分散し連携・統合できていない (バッチや人手)
- システムの変更に、時間と資金がかかる (システムの柔軟性が無い)
- 情報(データ)が分散しており、管理・利用が煩雑

ビジネス・プロセス統合は、新しいビジネス・モデルや、業務プロセス・モデルを、柔軟に迅速に、かつ、既存の資産を活用しながら実現するソリューションで、システム間やアプリケーション間を接続するに留まらず、企業活動を支える全業務プロセスの観点で統合する。業務の設計定義、運用、管理・監視することにより、自動化・効率化・可視性と、柔軟性向上を実現し、経営評価指標(KPI)を改善。

情報の統合は、既存のデータや、格納方式をそのまま維持し、単一データ・ビューの提供する。情報を利用するアプリケーションのプログラミングを軽減し、運用・保全・管理を容易にする。

ビジネス統合ソリューション



製品

- WebSphere Business Integration adapter
- WebSphere MQ Family
- DB2 Information Integrator

ポータル/ワークスペース

企業経営、業務視点での課題

- ・的確、かつ最新の情報による、素早い経営判断ができない
- ・情報が分散していて、有効に活用されていない
- ・若手のスキル、創造力が上がっていかない
- ・標準化を追求するあまり、ナレッジワーカーの強みが生かされない
- ・間接業務の負担が大きく、業務生産性が上がらない

IT視点での課題

- ・多くのシステムが分散配置されており、運用管理コストが大きい
- ・セキュリティ基準がバラバラで、安心して情報提供ができない
- ・データの保管形態が多種多様であり、容易にアクセスできない
- ・システムの操作性に問題がある

On Demand Workplaceとは、上記の課題を解決するために、IBMが**自身のBPRで得た多くの経験**をお客様に役立てていただくものであり、弊社が日頃活用しているソリューションや仕組みを**貴社既存IT資産と統合し、個人及び企業全体の生産性向上**を目指した**実務型ポータルソリューション**です。

IBM On Demand Workplace の4つのコンポーネント

サービスオファリング 構想立案・計画策定サービス、WinRoomサービス
ポータル統合パック/コラボレーションパック/ロール別業務設計/……



製品

- Lotus Workplace
- WebSphere Portal

システム運用管理

複雑な環境の管理・運用に手間がかかり過ぎる

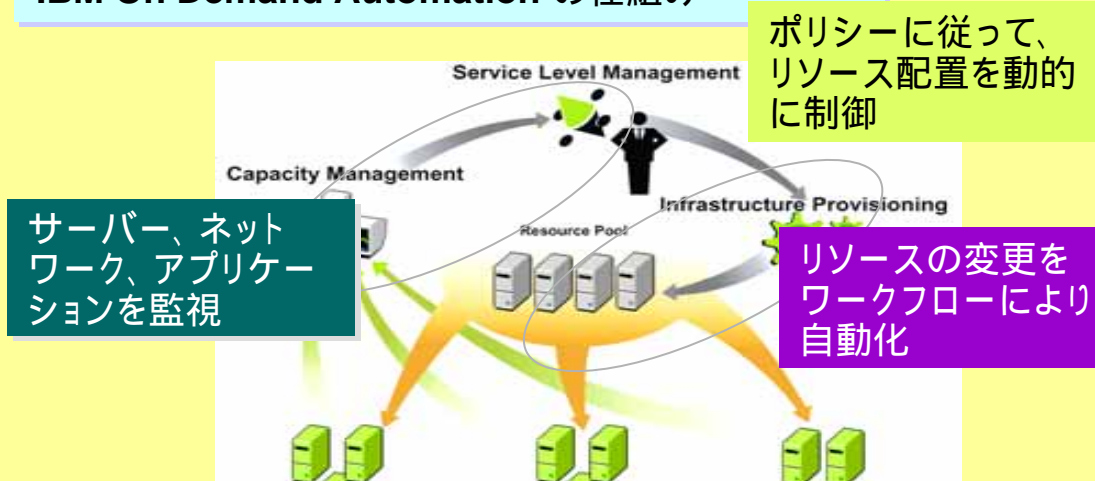
- 開発環境やテスト環境の維持が大変
- システム環境ごとに異なる製品バージョン・PTFレベルの管理が複雑
- システム環境の追加等に対し、要件に基づき正確且つ迅速にセットアップしたい

予期せぬ負荷増大に迅速な対応ができない

- ピーク時を想定するため、全体的に冗長なサーバーが必要
- システムリソースを、より有効活用したい
- あらかじめ定めたポリシーに応じて自動制御し、ワークロードを削減したい

Tivoli Intelligent ThinkDynamic Orchestrator (ITITO) を活用した On Demand Automation により、ピーク対応・開発対応などの余剰リソースを、リソース・プールとして共有化しリソースを削減できます。システムや業務によってピークが異なったり、常時必要ではないテスト環境などが多い場合に有効です。

IBM On Demand Automation の仕組み



オーケストレーターは、各製品の提供するモニタリングと動的実行機能をフルに活用し、全体を最適化します

製品

- Tivoli Intelligent ThinkDaynamic Orchestrator

ビジネス・インテリジェンス

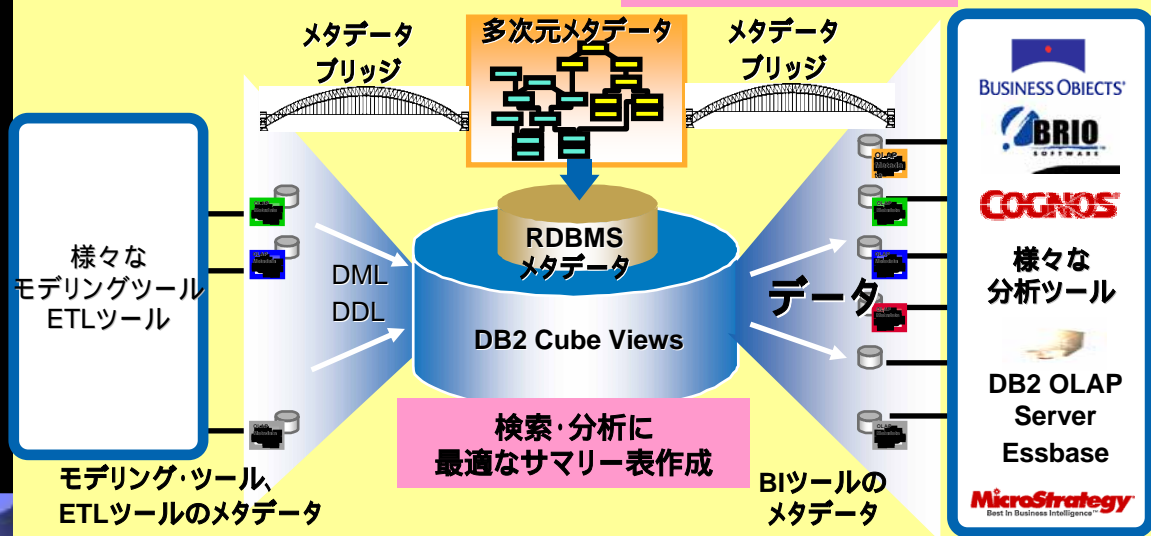
現状の課題

- ・ 現在、ユーザーのための情報活用ツールとして、BusinessObjects・Brio・Cognosなど汎用的な検索・分析ツールを使っているが、レスポンスが良くない、非定型な分析が難しい、追加・変更要件への対応が困難などの課題がある
- ・ レスポンス高速化のためには、支店別・商品別・顧客属性別・期間別など、多種多様なユーザーの分析視点に合わせて事前に集計したサマリー・データが多数必要になるが・・・
- ・ サマリーを持つとレスポンスは速くなるが、同様のデータが多数並存し、追加・変更要件への対応が非常に困難になる
- ・ ツールをうまく取り入れ、分析パフォーマンスを高速化しつつ、開発・保守も容易な、本格的な多次元分析のしくみはないのか？

上記の課題を解決するツールとして登場したDB2 Cube Viewsにより、多次元分析のパフォーマンス高速化に必要な多数のサマリー表を、最適な形に集約できます。各種設定はGUIツールを使って迅速・容易に行えます。また、分析のためのメタデータ(データ項目名、分析軸等)を管理し、様々なBIツールで活用できます。現行の検索・分析ツールはそのまま活かし、かつパフォーマンス高速化と保守容易性向上を同時に実現した、本格的な多次元分析環境が実現します。

ソリューション・イメージ

分析メタデータの管理
様々なBIツールで活用



製品
•DB2 Cube Views

コンテンツ管理

業務の課題

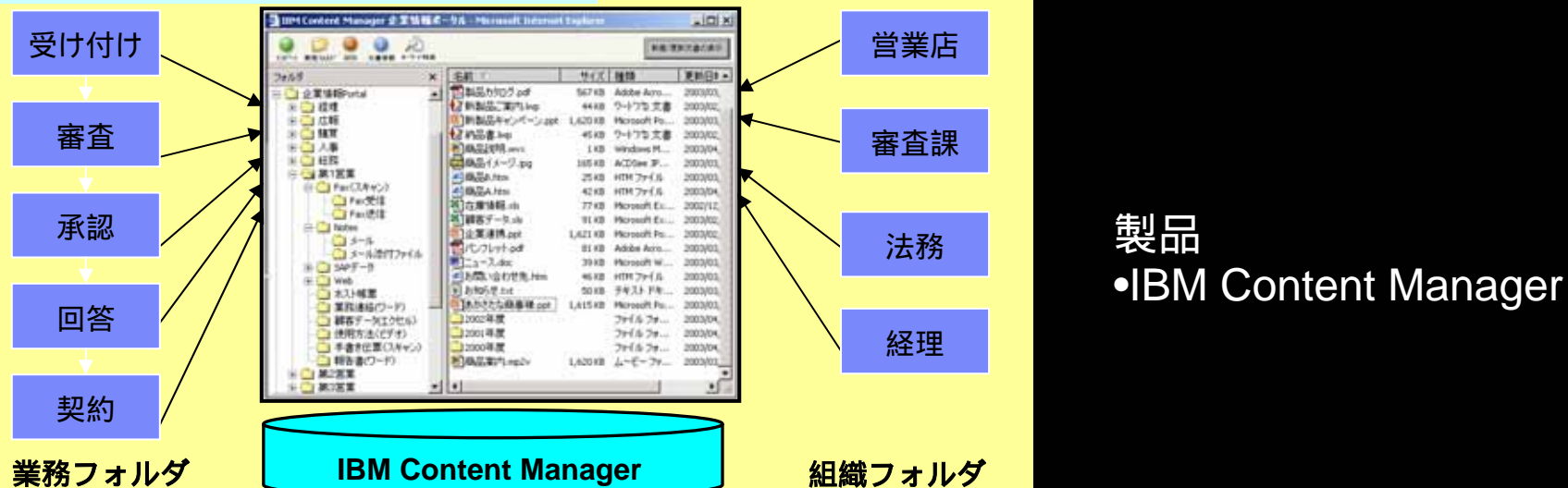
- ・ オンデマンドワークプレイスを進めたが、オフィスには紙文書があふれ、その電子化・共有化が必要
- ・ バージョン管理、ワークフローなど業務機能も盛り込んだ文書管理が必要

ITの課題

- ・ 全社共有の仕組みを構築したが、パフォーマンスが確保できず、業務を拡張できない
- ・ データが膨大に増えることが予想されるが、拡張性を確保することが困難
- ・ 各種メディアを統一的に管理できる仕組みがない

IBM Content Manager は文書管理に必要な、バージョン管理、排他制御(チェックイン・チェックアウト)、セキュリティー管理などを実装しています。ワークフロー機能を使って業務機能を盛り込み、複数の仮想フォルダで管理することも可能。業務に密着した文書管理を実現することができます

業務文書管理のソリューションイメージ



アジェンダ

1. オンデマンドに対応するIBMソフトウェア
2. IBM ソフトウェアソリューションの詳細
3. 2004年ソリューションチームの体制

ミドルウェア統括 川原 均

WebSphere ブランド
永谷 啓子

ビジネス・インテグレーション
山下 晶夫

インフォメーション・マネジメント ブランド
菅野 功夫

インフォメーション・マネジメント
中川 いち朗

Lotus ブランド
澤田 千尋

ポータル
神戸 利文

Rational ブランド
宮橋 一郎

Tivoli ブランド/ システム・マネジメント
日野 義久

エンタープライズ・ソフトウェア
船橋 伸二

クロスブランド
服部 嘉賜

2004年上半期マーケティングキャンペーン

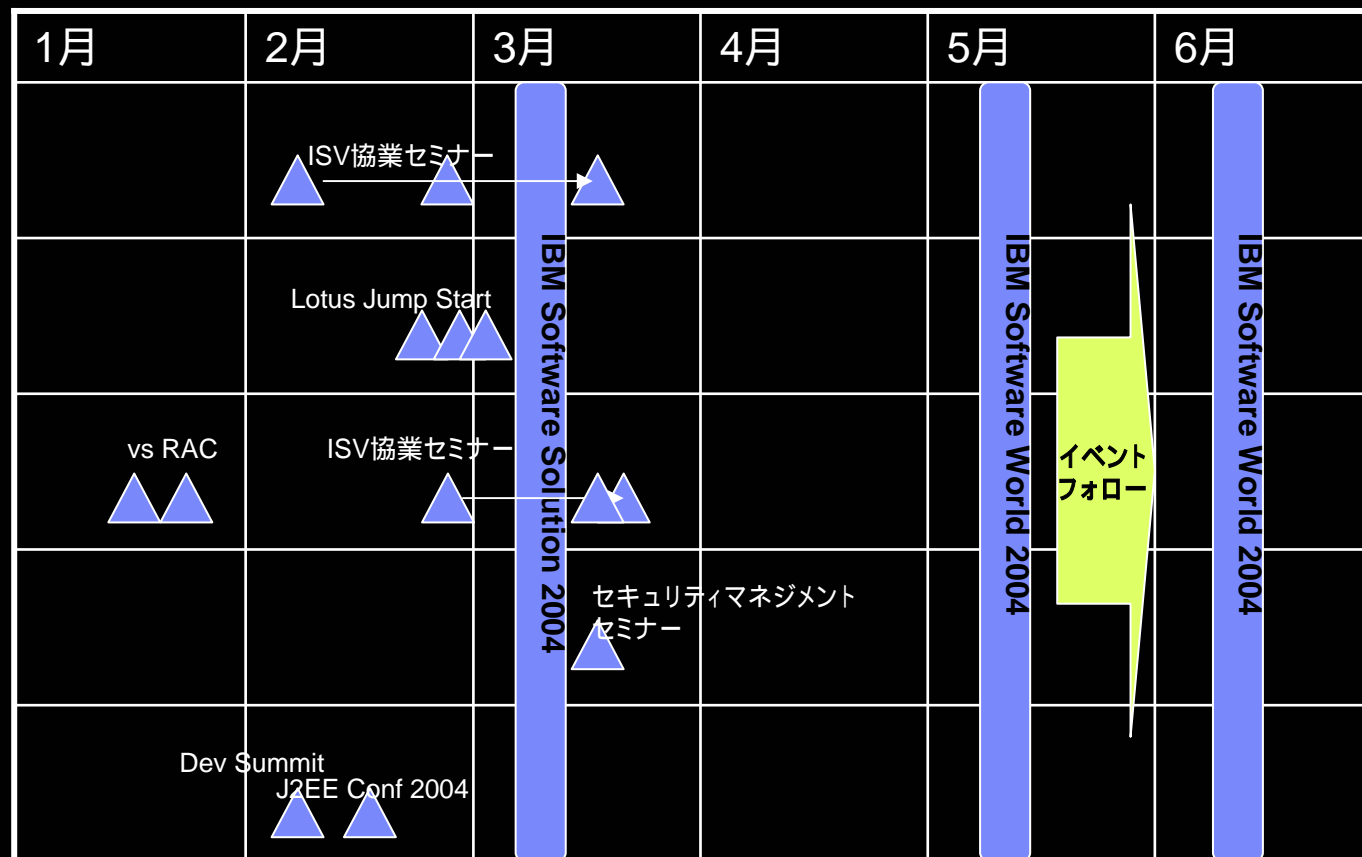
WebSphere software

Lotus software

DB2 Information Management Software

Tivoli software

Rational software



2004年、ビジネスパートナー様と共に

- ブランド価値の向上
- テクニカル支援の強化
- ソフトウェア品質の向上

ご清聴ありがとうございました